

平成27年度第2回成田市環境審議会会議録

1 日 時 平成27年11月20日（金）午前10時30分～午前11時50分

2 場 所 成田市役所6階中会議室

3 出席者

（委員）

本橋敬之助会長、森山茂副会長、藤井智子委員、富井征夫委員、一色尠夫委員、川村佐平治委員、豊田いつ子委員、長尾ミチ子委員、西山重男委員、佐藤勝幸委員、綿貫沢委員、田中典枝委員、小島猛委員

（成田市）

環 境 部 澁谷部長、石井参事

（事務局）

環境計画課 椿課長、吉原課長補佐、渡部係長、大竹主査、横田主事

環境対策課 大竹課長

クリーン推進課 岡田課長

環境衛生課 石橋課長

4 委嘱状の交付

5 議題

（1）平成27年度 環境部の概要（所掌事務）について

（2）その他

6 傍聴者

2名

7 議事（要旨）

（1）平成27年度 環境部の概要について

環境部各課長より、「平成27年度 環境部の概要」に沿って、各課の所管する事務事業について説明を行った。

議題（1）において出された質問等は次のとおり。

（〇・・・質問、→・・・質問に対する回答）

○福島県の放射線汚染土について、現在成田市で放射線の汚染土がどこかにあると耳にしたことがある。本当にある場合、どのくらいあるのか。またどう処理すればいいのかなど教えてほしい。

→基本的に汚染土については、法律で福島県から県外に持ち出ししないということになっているため、成田市内において福島県から持ち込まれた汚染土はないと考えている。また、市内5カ所で放射線測定を実施しているが、測定結果はどれも国で定めている除染が必要とされるレベルをかなり下回っている。そのような状況を考慮すると、市内における放射線というのは、現状問題はないと考えている。

○最近プラスチックごみが問題になっている。特にマイクロプラスチックが自然を汚染していて、いずれは人間を汚染していくと言われている。成田市では、プラスチックごみは増加してきているのか。

→成田富里いずみ清掃工場の稼働から分類区分を変え、プラスチックについては、容器包装リサイクル法に基づきまして、リサイクルするよう分別して収集している。再生が不可能なプラスチックについては、清掃工場において熔融処理している。プラスチック製容器包装は、新しい分別区分のため以前のデータはないが、ペットボトルについては、年次データでみると増加してきている。

○成田富里いずみ清掃工場、リサイクルプラザへ行く場合、国道51号を通るとスムーズだが、それ以外のアクセスがあまりよくない。道路の整備について、環境部から進言できないか。

→現在、余熱利用施設の整備の関係で、野毛平小泉線と十倉三荒海線の工事を実施しているところだが、野毛平小泉線で一部用地買収が完了していないことから、工事が中断している部分がある。買収が完了し次第、工事が再開されると考える。

(2) その他

□次回審議会の予定について

- ・成田市生活排水対策推進計画中間見直しについて
- ・成田市役所エコオフィスアクション（第3次成田市環境保全率先実行計画）の平成26年度結果について

以上について報告を予定